

③旭川放水路（百間川）河川改修事業

受賞機関 国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所

キーワード 一の荒手、治水安全度の向上、歴史・文化の保全

全建賞審査委員会の評価ポイント

岡山の中心市街地を洪水被害から守るため、旭川の放水路である百間川の整備。最新の技術を活用しながら歴史的遺構の保全に努め、治水安全度の向上と良好な都市景観の形成の両者を図っており、歴史・文化の保全を図る地域での河川改修として、今後につながる成果が認められる点が評価された。

1. はじめに

旭川放水路（百間川）は、岡山の中心市街地を洪水から守るため、昭和45年の事業採択以降、堤防築堤、河道掘削、橋梁・樋門・排水機場設置、河口水門増築及び分流部改築等、半世紀以上にわたり整備を行ってきた。令和元年6月に本事業の最終工程となる分流部の改築工事が完了し、一連の事業が完成した。

2. 事業の概要

旭川放水路（百間川）河川改修事業は、江戸時代に築造された百間川を再度近代の放水路として活用し、旭川の計画高水流量6,000m³/sのうち2,000m³/sを百間川へ分派させて岡山の中心市街地へ流下する洪水を低減させるため、延長12.9kmに及ぶ河道整備をはじめ、百間川河口水門の増築、分流部の改築等を順次実施してきた。

分流部の「一の荒手」の改築にあたっては、ICT施工や3次元計測等の現代技術を用いて、最適な復元形状を決定し、歴史的遺構の保全と治水機能の両立を図った。江戸時代から続く旭川放水路「百間川」を活用した河川改修事業は、着工から半世紀以上の時をかけ令和元年6月に完成した。



岡山平野と旭川・百間川

3. 事業の成果

事業の完成により、旭川の放水路である百間川に適正に洪水を分派し、洪水を安全に流下させることが可能になり、流域の治水安全度が飛躍的に高まった。実際、完成前であったが、平成30年7月西日本豪雨においてその機能を発揮し、岡山市街地を洪水被害から守った。

また、整備された高水敷は公園として岡山市に占用され、スポーツ施設や遊具広場、多目的広場等の施設が整備され、広く市民の憩いの場としても活用されている。



百間川分流部「一の荒手」（令和元年8月撮影）

4. おわりに

旭川、百間川が流れる岡山平野は、干拓等によって形成された低平地、ゼロメートル地帯に広がっているため、洪水・高潮等に脆弱な地形となっている。

旭川放水路（百間川）河川改修事業は、江戸期から伝わる放水路と治水施設を、昭和・平成各時代の最新の治水技術を融合させ、歴史・文化の保全に取り組んだ治水事業である。この事業の完成により、地域の安心・安全が図られ、地域の発展に寄与していくことを期待している。

賛助会員 (株)荒谷建設コンサルタント、(株)ウエスコ、中電技術コンサルタント(株)、東亜建設工業(株)、西松建設(株)、日本工管(株)、(株)ニュージェック、パンフィックコンサルタンツ(株)、復建調査設計(株)、三井共同建設コンサルタント(株)